

アフリカと日本の架け橋に

■青年海外協力隊の櫻井さんと永島さん

青年海外協力隊として2年間、西アフリカのブルキナファソに派遣される櫻井良江さん（39歳・甲）と永島摩澄さん（26歳・向川澄）が、9月18日、筑西市役所を訪れ、富山市長から激励を受けました。



富山市長を表敬訪問した櫻井良江さん（写真左）と永島摩澄さん（同右）

現地の山林で植林活動を行う櫻井さんは、「アフリカの現状を知り、何か自分にできることはないか」と思い、応募しました。この縁を大切に、アフリカと日本の架け橋になれるよう頑張ります。小学校で環境教育を行う永島さんは「難しいことではなく、身近な自然や環境について子どもたちに教えたいですね。私自身も活動を通して成長し、海外

で学んだことを社会に還元したいと考えています」と抱負を語りました。

花いっぱいのにきれいなまちへ

■成田北自治会と明野公民館が県知事賞



成田北自治会のフラワーロード

第35回花と緑の環境美化コンクール中央審査が行われ、フラワールードの部で成田北自治会が、団体・職場の部で明野公民館が、茨城県知事賞を受賞しました。これは、きれいな地域づくりを進めるため、花いっぱい運動で素晴らしい成果をあげている団体を表彰するものです。



明野公民館の花だん

中高生が交通安全をPR

■秋の交通安全キャンペーン

9月20日、明野中学校東の交差点で、交通安全キャンペーンを実施し



ました。この日は、県立明野高等学校の生徒24人と市立明野中学校の生徒9人、筑西警

察署、交通安全協会、筑西交通安全母の会、明野高校PTA交通マナーアップ委員会、筑西市が参加。朝の通勤時間帯にパンフレットや眠気覚ましのガムなどを配り、ドライバーに交通安全を呼びかけました。

いざという時の協力体制を

■筑西市「災害応援協定」合同調印式

10月2日、筑西市役所で、筑西市「災害応援協定」合同調印式を行いました。これは、災害が発生した時や発生するおそれがある場合に、相互に協力して被災者および避難者の救援を円滑に行うために締結したものです。今年3月には、農協やエネルギー関連企業、輸送業など12の事業所と災害時応援協定を締結しています。今回協定を結んだのは、次の14事業所です。

（社）茨城県建築士会筑西支部、筑西市指定管工事業協会下館地区、筑西市

関城地区指定工事店組合、明野地区指定工事店組合、協和地区給水装置工事指定工事店組合、NPO法人コメリ災害対策センター、（株）ユークン、（株）エコス、（株）カスミ、（株）とりせん、（株）ベイシア、（株）かましん、日本ハム（株）、（株）大国屋



市役所本庁の窓口時間を延長しています

■毎週木曜日は午後7時まで
11月の実施日＝1日、8日、15日、22日、29日

市では、6月から11月末までの毎週木曜日、窓口業務の一部を、午後7時まで試行的に延長しています。仕事などで平日昼間では市役所に来ることができない方は、ぜひご利用ください。詳しくは、各担当課までお問い合わせください。

学校生活を毎日発信 竹島小のホームページが県代表に

第5回全日本小学校ホームページ大賞（J-KIDS大賞2007）の県代表に竹島小学校が選ばれ、9月19日、事務局から表彰状が贈呈されました。県内約450校のうち、県代表に選出されたのは8校。竹島小は、見やすくわかりやすく、児童の学習成果の紹介など内容も充実していると、高い評価を受けました。

竹島小のホームページは、情報教育主任の小倉康雄先生を中心に、全職員と児童が参加して、ほぼ毎日更新しています。小倉先生は、「これからの活動もホームページを通して、学校での活動を地域の人に発信していきたいですね」と話していました。



豊作を祈って地面をたたく 蓬田地区で伝統行事ぼうじぼう

9月25日、蓬田地区で、ぼうじぼうの行事が行われ、秋の夜長を地区の子どもたちが練り歩く光景が見られました。これは、「ぼうじぼうあたれ 三角ばつたら蕎麦あたれ とれろ とれろ 大麦 小麦」などと唱え、いもがらの茎2、3本をわらで包み棒状にして細縄で巻いて作った「ぼうじぼう」を各家の玄関先で地面をたたき、豊作を祈る行事です。

ぼうじぼうは、十五夜（旧暦8月15日）と十三夜（旧暦9月13日）に行い、地面をたたくことによって、農作物に害を与えるモグラを追いつつ、害虫を追いつく虫追いの行事という説もあります。



市民が主体となり、まちの再生を 筑西市生涯学習フェスティバル 2007

9月30日、明野公民館大ホールで筑西市生涯学習フェスティバルを開催しました。これは、「市民だれもが、いつでも、どこでも、いきいきと学び交流するまち」をテーマに毎年行っているものです。

今年は、滋賀県長浜市の（株）黒壁常務取締役の伊藤光男氏が、「長浜国際ガラス文化を創造せよ！」と題して講演を行いました。永年、長浜市のシンボルであった通称「黒壁銀行」の建物解体に際し、市民有志が保存運動を行い、（株）黒壁を立ち上げて中心市街地の再生に取り組んだ経緯を披露。会場に集まった市民は、熱心に耳を傾けていました。



芸術家の先生に教わったよ 飯泉先生が嘉田生崎小で絵の指導

筑西市出身・在住の洋画家で日展評議員の飯泉俊夫先生が、10月16日、嘉田生崎小学校で絵の指導を行いました。これは、文化庁の芸術家派遣事業として行ったもの。芸術家や伝統芸能保持者を出身地域の学校に派遣し、講話や実技指導を通して子どもたちの芸術への関心を高め、豊かな心を育むことを目的としています。

この日は、全3回のうちの2回目。3年生19人と4年生18人が飯泉先生に直接アドバイスをもらいながら、写生会の絵に取り組みました。子どもたちは「教えてもらえて良かったです」「絵をはめられたよ」とうれしそうに話していました。



地域ぐるみで花いっぱい運動 飯島地区農村保全協議会

農林水産省は、地域ぐるみでの環境保全活動を支援する「農地・水・環境保全向上対策」を平成19年度から実施しています。この補助を受け、飯島地区農村保全協議会（会長＝高田喜一さん）は、地域を花でいっぱいにしようと幹線排水路沿い500mにわたりコスモスの種をまきました。

晴天に恵まれた10月14日、たくさんの地域住民が現地に集合。秋風に揺れる満開のコスモスを観賞しながら、バーベキューを楽しみました。

高田会長は「地域全体で協力して草刈りや清掃活動を行ったおかげで、見事にコスモスが咲きました。これからも続けていきたいですね」。



川辺に可憐なコスモス畑 鬼怒川を愛する会

市内伊佐山の鬼怒川河川敷に広がる、赤やピンク、白、黄色など、色とりどりのコスモス畑。これは、ボランティア団体「鬼怒川を愛する会」（会長＝中澤清一さん）が、水戸線鉄橋の北側約8000㎡の敷地に種をまき、心を込めて育ててきたものです。台風による大雨で敷地が一時浸水したものの、見事に花を咲かせ、訪れる人の目を楽させています。

中澤会長は、「川辺にきれいな花が咲いていれば、そこを通る人の心もきれいになります。たくさんの人に見てもらえればうれしいですね。コスモスの見頃は10月中旬まで。来年春にはポピー畑を作る予定です」。

